令和８年　第３回（６月）　筑紫野市議会定例会

［総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会　委員長報告］

総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会の審査の経過と結果についてご報告いたします。

本特別委員会は、去る令和８年３月議会において設置され、これまでに４回委員会を開催しました。

はじめに、閉会中の４月２２日に開催しました第２回目の本委員会について御報告いたします。執行部から令和７年３月に策定した筑紫野市スポーツ推進計画における施策を推進するため、筑紫野市スポーツ施設整備基本構想のなかで、総合体育館の必要性、施設整備の基本方針、施設の規模等について定めており、今回はその建設場所、今後のスケジュール等について検討を進めていきたいという趣旨の説明がありました。また、市民アンケートの結果や農業者トレーニングセンターの老朽化などにより、総合体育館の整備を優先的に検討する経緯・目的などの説明がありました。

質疑を行った後、委員間討議を行い、用地の議論を先行させるのではなく、まずは「どのようなスポーツ施設が必要

か」議論を深め、委員それぞれが理想とする施設案や必要な機能について次回検討することとしました。

続きまして、６月８日の第３回委員会は議員のみで行い、筑紫地区のスポーツ施設の状況等を確認した後、各委員から意見を集約し、執行部に確認する事項として次の４点を掲げました。１つ目は補助金や財源の検討など財政上の負担について、２つ目は地域スポーツの在り方について、３つ目はスポーツ施設の規模及び大会の想定について、４つ目は公共施設長寿命化計画を含めた各施設の在り方について、協議を行うこととしました。

続きまして、６月２２日の第４回委員会では、まず執行部から前回の４項目を含めた質疑等に対して市の考え方を含めた回答があり、委員全員で今後の方向性を確認した後、用地の選定について執行部から説明を受けることとしました。

執行部からは、市有地を前提として農業者トレーニングセンター、カミーリヤ、上古賀グラウンド、下見池が候補地であり、面積、道路・交通環境、防災・安全性などさまざまな要件を考慮した結果、カミーリヤ周辺が総合体育館の施設整備の候補地として最適であり、農業者トレーニングセンター

とカミーリヤの一体的な利用を含めたサウンディング調査を行っていきたいとの説明がありました。

一委員から、諸田グラウンドが最適地ではないか、との質疑があり、執行部からは、あくまで市有地での検討を行っており、県有地である諸田グラウンドは現時点では想定していない、との答弁がありました。

また一委員から、県との交渉をする必要があるのではないかとの意見がありました。

委員会としては、次回７月８日に議員のみで委員会を開催し、候補地の話を聞いて改めてどのようなスポーツ施設が望ましいか各委員間で議論を行うことを確認しました。

以上、委員会の審査の経過をご報告申し上げましたが、総合スポーツ施設の整備について審査及び調査を行うため、引き続き閉会中の継続審査をお願い申し上げまして、本委員会の審査報告とさせて頂きます。